

市税等Web口座振替受付サービスのご紹介

第13回「山形デジタル道場@Zoom」事例紹介

酒田市納税課 令和4年9月7日

本日のご紹介すること

1

導入の経過とサービスの概要

2

これまでの実績と現状

3

課題とこれからの展望

1 導入の経過とサービスの概要

1 導入の経過とサービスの概要

口座振替申込みの課題

金融機関窓口に出向き申請書を提出



受付時間が限られる

→窓口での受付は、平日9時から15時のみ



届け出印の不一致などの不備

→持参した印鑑が届け出印と異なれば受付不可

1 導入の経過とサービスの概要

金融機関からの提案

ガス料金などのように口座振替の申し込みをインターネットで！



いつでも受付可能！

→金融機関の営業時間に関わらず申請できる



入力された項目で照合

→手戻りになることなく申請できる

1 導入の経過とサービスの概要

導入からこれまで

平成**26**年**6**月

Web口座振替受付サービス開始

受付可能税目

市県民税、軽自動車税、固定資産税・都市計画税、国保税

受付金融機関

荘内銀行、北都銀行、山形銀行

平成**27**年**4**月

受付対象に“**保育料**”追加

平成**28**年度～

固定資産税通知書へ口座振替発着ラシ封入

令和**2**年**4**月

受付対象に“**公立保育園給食費**”追加

1 導入の経過とサービスの概要

Web口座振替受付サービスの概要

お客さま

金融機関窓口で手続き

口座振替依頼書
記入・捺印

金融機関から郵送

Web口座振替受付から手続き

お客さま情報と
口座情報を入力

お客さま情報と口座情報を受信【随時】
口座振替依頼書作成

納税課・口座振替担当

内容確認し、システムへ口座振替情報を登録

口座振替登録完了！

《参考》Web受付画面イメージ

市税等Web口座振替受付サービス

現在のページ > [トップページ](#) > [くらし](#) > [税金](#) > [納税](#) > 市税等Web口座振替受付サービス

更新日：2020年4月1日

平成27年4月1日から、インターネットを利用して市税と国保税の他に、保育料の口座振替の申し込みが新たにできるようになりました。

インターネット環境のあるパソコン、タブレット端末、スマートフォン、携帯電話から申し込み（新規・変更）ができます。

一度の申し込み手続きで、その後は納期ごとに銀行口座から自動的に引き落とされます。納め忘れがなく便利で確実な口座振替をぜひご利用ください。

サービスを利用するには

本サービスのご利用は、次の金融機関の預金口座において、キャッシュカードをお持ちの個人に限ります。
（※法人口座でのWeb受付はできません。）

申し込み手続き

以下より、口座振替を希望する税目・料を選択して、申し込み手続きを開始してください。

 市県民税 (普通徴収)	 固定資産税 都市計画税
 軽自動車税 (複数所有の場合、車両指定 はできません。)	 国民健康保険税
 保育料	 公立保育園給食費

酒田市 固定資産税・都市計画税 Web口座振替受付サービス

口座振替のお手続きの流れ

- ① お客様情報の入力
- ② 入力内容の確認
- ③ お客様情報の送信
- ④ ネット口座振替受付サービスサイトでお振替口座の内容を入力・確認
- ⑤ 各金融機関サイトでお振替のお手続き
- ⑥ 口座振替受付結果画面

お客様情報をご入力ください。

口座振替お申込[必須]	<input type="radio"/> 新規 <input type="radio"/> 変更
義務者コード[必須]	<input type="text"/> (半角数字10桁) (固定資産税・都市計画税納税通知書 右上の義務者コード10桁を入力してください) (不明の場合は、全て0(ゼロ)を入力してください)
お申込者[必須]	<input type="text"/> (全角)
お申込者電話番号[必須]	<input type="text"/> (半角：市外局番からハイフンなしで) (日中連絡の取れる電話番号を入力してください)
指定口座名義人(漢字) [必須]	<input type="text"/> (全角)
指定口座名義人(カナ) [必須]	<input type="text"/> (全角カナ)
納税義務者(漢字)[必須]	<input type="text"/> (全角)
納税義務者住所[必須]	酒田市
振替開始時期[必須]	令和 <input type="text" value="4"/> 年 <input type="text" value="3"/> 期(9月) から (振替開始する期の月の15日までに申し込みされた場合、当期から振替を開始できます。16日以降の場合は次の期以降を指定してください)
備考	<input type="text"/>

戻る

確認

1 導入の経過とサービスの概要

運用にかかるコスト

手数料

Web受付 1 件あたりの経費

月額基本料

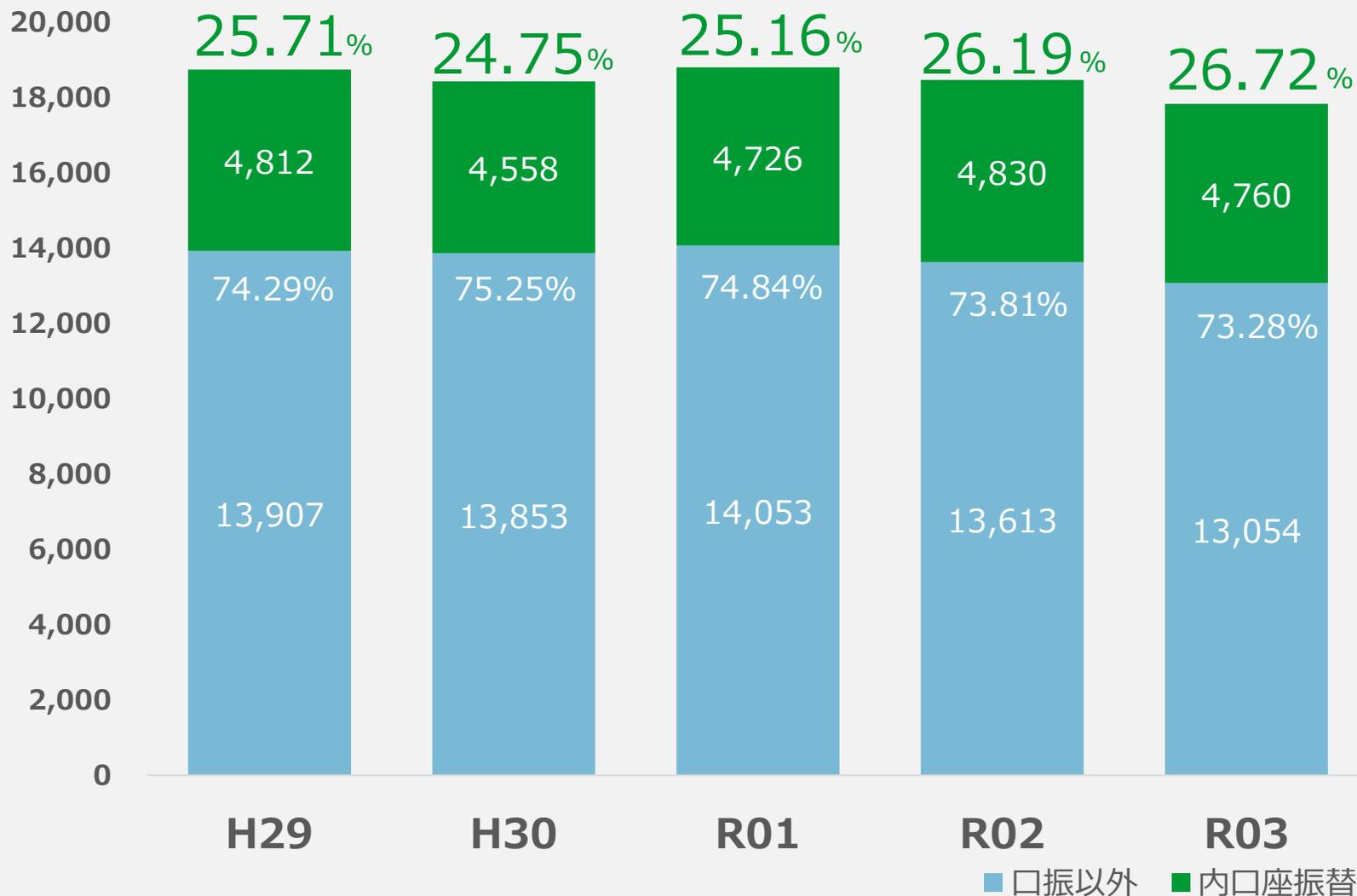
受付があった月について、各科目ごと定額の料金

2 これまでの実績と現状

2 これまでの実績と現状

口座振替による収納実績

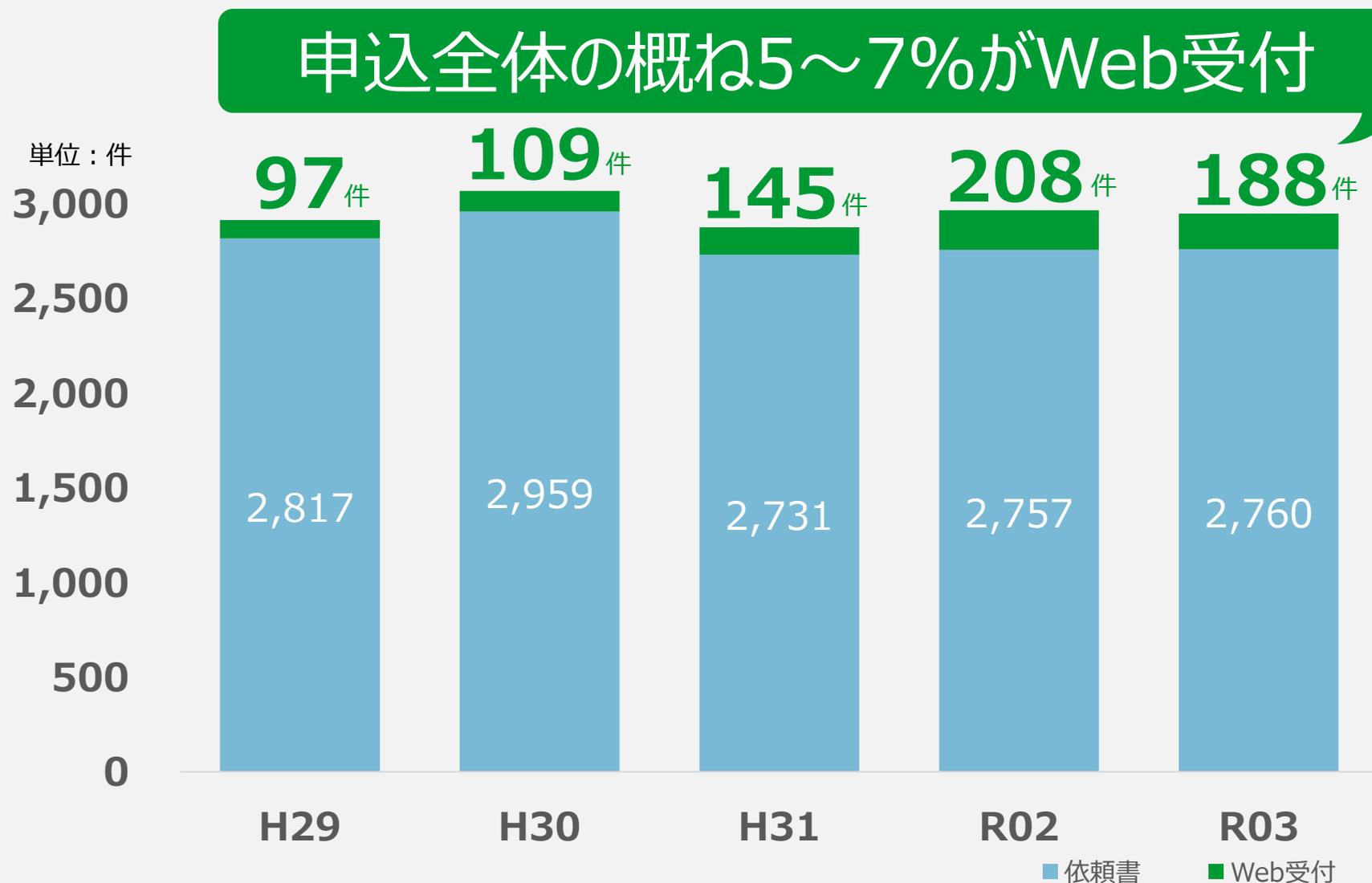
収納額（単位：百万円）



出典：税務概要

2 これまでの実績と現状

口座振替申込件数の推移



2 これまでの実績と現状

導入してよかったこと

いつでも、どこでも

インターネット環境があるスマホ、PCからいつでも申し込み可能

早 く

依頼書への記入や郵送にかかる時間がかからない

確実に

受付時に正しい口座情報が照合できる

3 課題とこれからの展望

3 課題とこれからの展望

受付可能税目等

Web口座振替受付は、
4税目（市県民税、軽自動車税、固定資産税、国保税、）
及び保育料、保育園給食費のみの受付となっている。



口座振替を利用しているものは、介護保険料など他にもあり、
導入経費を確認しつつ、Web受付可能な公金等への拡大を
検討していく。

3 課題とこれからの展望

受付可能金融機関

Web口座振替受付は、
現在のところ3つの金融機関のみの受付となっている。



受付実績を注視し、Web受付が可能な3行以外にも、Web
受付可能な金融機関を拡大を模索していく。

3 課題とこれからの展望

基幹システムとの連携

Web口座振替受付されたデータを、直接基幹システムに取り込むことができない。（依頼書様式を印刷し手入力）



紙媒体への出力ではなく、受付した情報を基幹システムに取り入れるデータとして出力し利用する。

3 課題とこれからの展望

エラーチェック

Web口座振替受付時に入力された情報が、正しいものなのかチェックできない。※口座情報は金融機関でチェック可能



受付ページに入力する際、課税データと照合するなどエラーが生じない仕組みを考える。

まとめ

自治体DXを推進するために、オンライン手続きは必須

全ての業務がオンラインで完結する仕組みを考える

効率的な運用のため他システムとの連携を図る